

県産スギ材をトップセールス ～ 宮崎 ～

ソウル事務所

1 1 月 1 2 日、宮崎県知事をはじめとする県内木材関係者が来韓し、韓国ソウル市及び京畿道で、宮崎県産材の普及 P R ・セールス活動が行われましたので報告します。

東大門デザインプラザ（ソウル市）

ソウル市東大門では、現在、野球場跡地に韓国のデザインの発信基地となる東大門デザインプラザを建設中です。完成は来年 3 月の予定で、設計は東京オリンピックのメインスタジアムの設計者にもなっているイラクの女性建築家ザハ・ハディッド氏です。デザインプラザでは、館内のカフェなどのショップを木製の屋台で検討していることから、今回、宮崎県産スギ材を使用した木製屋台を提案させていただくなどの P R 活動を行いました。

アチャノリ住宅団地（京畿道東豆川市）

当団地は今年末から来年にかけて 120 戸の木造住宅が分譲される予定ですが、このほど宮崎県産スギ材を使用した 3 棟のモデル住宅が完成し、宮崎県知事も参加し、オープニングのテープカットが行われました。建てられる住宅は、施主の好みに応じて決定されますが、当団地では、ツーバイフォー住宅（北米材）VS 在来軸組住宅（県産スギ材）の構図で、それぞれのタイプの住宅建築の獲得を巡って熾烈な競争が展開されるものと思われます。



建設中の東大門デザインプラザ



モデルハウスオープン・テープカット

韓国の木造住宅について

韓国の木材自給率は 2012 年で 16%（韓国山林庁統計）となっており、木材の多くは輸入に依存している状況です。木材需要の多くを占める住宅建築着工数（韓国統計庁資料）は 2012 年で約 19 万棟となっており、うち木造住宅は約 1 万棟規模となっていますが、2005 年（1 9 9 3 棟）対比で見ると約 5 倍と飛躍的に伸びており、中でもソウル市周辺の京畿道などで伸びており、アパートが中心の韓国において、戸建ての木造住宅に対するニーズは確実に高まってきていると言えます。（日高所長補佐 宮崎県派遣）